

久留米大学附設高等学校

校歌

大石 亀次郎 作詞
 藪 文人 作曲

一、高良山下の学園に

万朶の桜 咲き そろい
 若き 血潮の 高鳴るを
 見ずや 希望の揺籃地

二、江月さえて 悠久の

流れは 遠し 千歳川
 高き 彼岸の 光明を
 見ずや 試練の理想郷

三、修羅道の世を 救うべく

平和の 偉業 任として
 築く 不朽の 真善美
 見ずや 我等の大使命

思考廻廊

									
61回生 ↑									
   									
51回生 ↑	52回生 ↑	53回生 ↑	54回生 ↑	55回生 ↑	56回生 ↑	57回生 ↑	58回生 ↑	59回生 ↑	60回生 ↑
    									
41回生 ↑	42回生 ↑	43回生 ↑	44回生 ↑	45回生 ↑	46回生 ↑	47回生 ↑	48回生 ↑	49回生 ↑	50回生 ↑
       									
31回生 ↑	32回生 ↑	33回生 ↑	34回生 ↑	35回生 ↑	36回生 ↑	37回生 ↑	38回生 ↑	39回生 ↑	40回生 ↑
         									
21回生 ↑	22回生 ↑	23回生 ↑	24回生 ↑	25回生 ↑	26回生 ↑	27回生 ↑	28回生 ↑	29回生 ↑	30回生 ↑
         									
11回生 ↑	12回生 ↑	13回生 ↑	14回生 ↑	15回生 ↑	16回生 ↑	17回生 ↑	18回生 ↑	19回生 ↑	20回生 ↑
         									
01回生 ↑	02回生 ↑	03回生 ↑	04回生 ↑	05回生 ↑	06回生 ↑	07回生 ↑	08回生 ↑	09回生 ↑	10回生 ↑

注) 空白の卒業回生は現在作成中

目 次

校 歌 思考廻廊	
目 次	1
福岡支部総会・定期総会 式次第	2
講 演 会	3
懇親会 式次第	4
本日出席の恩師の先生方	5
同窓会会長挨拶	6
附設高等学校校長祝辞	7
福岡支部長挨拶	8
同窓会総会幹事長挨拶	9
福岡支部収支報告書（平成23年10月～平成24年9月）	10
平成24年度 活動報告	11
平成24年度 収支決算書	13
平成24年度 終身会費収支決算書	14
監事報告書	15
平成25年度 収支予算書(案)	16
終身会費納入状況	17
同窓会規約改正(案)	18
平成25年度同窓会役員名簿	19
代表世話人一覧	20
1. 回生代表世話人（福岡支部・東京支部）	
2. 福岡支部職域代表世話人	
各支部近況報告	22
東京支部、北海道支部、関西支部、中四国支部、山口支部、 佐賀支部、長崎支部、大分支部、熊本支部、福岡支部	
寄付金ならびに広告協賛協力の御礼	24
広 告	25～56
東京・就職セミナーのご案内	56
編集後記・次回開催案内	57

【福岡支部総会 式次第】

(15:00～15:30)

司会 川口 勝久 (24回生)

1. 開 会
2. 福岡支部長挨拶 支部長 田中 利美 (20回生)
3. 議長選出
4. 議 事
 - ・平成24年度活動報告
 - ・平成24年度収支報告
 - ・監査報告
 - ・その他
5. 閉 会

【定期総会 式次第】

(15:30～16:00)

司会 川口 勝久 (24回生)

1. 開 会
2. 会長挨拶 会 長 長谷川 房生 (13回生)
3. 議長選出
4. 議 事
 - ・平成24年度活動報告 副会長 一瀬 徹夫 (13回生)
 - ・平成24年度決算承認の件 副会長 伯川 志郎 (15回生)
 - ・監査報告
 - ・規約改正 (同窓会組織の強化)
 - ①同窓会規約
 - ②同窓会会計規則
 - ③同窓会会計細則 (新設)
 - ・平成25年度予算承認の件 副会長 伯川 志郎 (15回生)
 - ・報告事項
 - 思考廻廊推進委員会
 - IT情報・名簿委員会
 - 就職セミナー
 - 後援会との連携
 - ・その他
5. 閉 会

【 講 演 会 】

(16:05～16:50)

司会 川口 勝久 (24回生)

講演者 元JPモルガン・チェース銀行 富田 公彦氏(24回生)
為替資金本部副本部長

演 題 「外資系って何」

(略 歴)

- 1980年 東京大学経済学部経済学科卒、㈱富士銀行入行。
- 1982年 同行国際資金証券部資金為替課配属。爾後、31年に渡り、金融市場（主として外国為替市場）のフロント業務に従事。
- 1986～2013年 ケミカル銀行(現JPモルガン・チェース銀行)、モルガン・スタンレー証券、ステート・ストリート銀行など、米系投資銀行の市場部門に、通算25年以上勤務。
- 2006～2007年 トレイダーズ投資顧問株式会社取締役副社長としてヘッジファンドを経営。
- 2013年5月 金融市場より引退

(備 考)

全国地方銀行協会研修所講師、法政大学経営大学院講師、日経CNBCテレビコメンテーター、日本経済新聞、ロイター、ブルームバーグ等内外の主要経済メディアにコメントの引用多数

(梗 概)

1979年夏。「1ヶ月半かけて、一人で北米を回ってくる」と言う私を、附設高校以来の友人は、「今生の別れになるかもしれない」と、半ば真剣に見送ってくれました。当時、年間400万人だった海外渡航者数は、今や2000万人。外国製品に触れずに1日を送ることは不可能ですし、海外旅行に行ったことのない人の方が少数派になっています。ビジネスの世界では、商社だけでなく内需関連企業の社員も、世界中で外国企業と対峙する時代となりました。ただ、取引相手でありライバルでもある外資系企業の組織原理や思想といったものは、正確には伝わっていません。その為、誤った形で彼らの制度を導入して組織を混乱に陥れたり、間違ったアプローチをしてビジネス・チャンスを逃した例が数多く見られます。

四半世紀以上を米系投資銀行で過ごした経験に基づき、「誤った外資系神話」を正すと共に、その真の姿についてお話をさせていただきます。

【懇親会式次第】

(17:00~19:00)

司会 川口 勝久 (24回生)

1. 開会挨拶 福岡支部長 田中 利美 (20回生)

2. 同窓会会長挨拶 会 長 長谷川 房生 (13回生)

3. 来賓ご紹介

4. 来賓ご挨拶

久留米大学学長

永田 見生 様

久留米大学附設高等学校校長

吉川 敦 様

5. 鏡 割 り

6. 乾 杯

名誉校長 樋口 忠治 先生

<ご 歡 談>

7. 校歌斉唱

8. 万歳三唱

次年度幹事長 山口 佳秀 (25回生)

9. 閉会の挨拶

幹事長 下川 敏弘 (24回生)

本日出席の恩師の先生方

久留米大学
附設高等学校 校長 吉川 敦 先生

名誉校長 樋口忠治 先生

(御 名 前) (担 当)

栢岡忠彦先生 物 理

古賀 直 先生 生 物

佐々木健治先生 数 学

江上寛二先生 美 術

宮崎充保先生 英 語

附設高校同窓会会長挨拶

長谷川房生（13回生）



久留米附設高校同窓会が「日本一の同窓会」となり、お互いが保有する知的資産、技能的資産、物理的資産を生かしあって、豊かな人生の構築に役立つ大「附設ファミリー」が、誕生することを夢見て、執行部も頑張っています。常日頃皆様には、多大なご協力を頂き、誠にありがとうございます。そのような中、本年度の福岡支部総会は24回生の皆様に当番幹事をご担当頂き、下川敏弘幹事長の元、大盛会となりましたことに、深くお礼申し上げます。

同窓会は本年5月に、新校舎の竣工記念号として、会報誌を発行させて頂きました。小田、一瀬副会長、印刷担当橋本和幸理事他、各担当の尽力で、熱い母校愛に溢れた素晴らしい会報が発行できたことを大変嬉しく思っております。

大学法人より、理事長、学長から祝辞・謝辞を頂戴したほか、初代同窓会長への「弔辞」、学校より学校長、後援会長はじめ、生徒会長、お二人の先生の情熱あふれる寄稿や、数々の学校活動の報告がありました。さらにお二人の文化功労者からの大変格調の高い寄稿も掲載されました。発刊の目的である「新校舎や思考廻廊」については、建設、構築にかかわった関係同窓生や、旧校舎で過ごした卒業生を代表して、母校に対する熱い思いが数々披瀝されました。各支部長より楽しくフレッシュな支部活動の報告、加えて「東日本大震災」に関する誌面では、「修羅救世募金活動」より女子奨学生への感謝の手紙、古賀前同窓会長より「気仙沼医療支援活動」の実体験、等々。大変充実した読み応えのある内容になっています。いまだ未読の方は、ぜひとも隅から隅まで目を通して楽しんで頂きたいと思っております。

このような素晴らしい記念同窓会報でしたが、当然、費用もかかりました。予算は250万円。この費用を協賛広告でまかなう予定でしたが、執行部員の多忙もあり、宣伝不足もあって、70万円弱となり赤字でした。同窓会関係誌として、最も発行部数の多い1万部を超え、「附設ファミリー」の形成には最も有効な発行誌でありましたが、今回は未熟な結果となったことを反省しております。次年度より毎年の発刊を検討したいと思っておりますが、その折にはぜひとも、職業氏名の紹介はもとより、個人名だけでも、あるいは会社などの勤務先同窓会でも、ぜひとも、同窓会発展のために、広告のご協力をお願いいたします。

親睦だけではもったいない、超エリート集団の私たちがお互いに、優れた保有資産を活用しあい、より素晴らしい人生となりますように、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。力を合わせ「日本一の同窓会」を実現いたしましょう。

附設高等学校校長祝辞

吉川 敦 校長



同窓会総会開催おめでとうございます。同窓生の皆さまにも、ますますのご活躍のこととお慶び申し上げます。

同窓会報 20 号は、新校舎落成記念号というべき編集でもあり、同窓生諸氏の方々の本校訪問が続いております。59 回生の卒業記念品、木柶額縁「思考廻廊」（乗富久哉氏設計）と同窓生の皆さまの想いの共鳴が、ようやく新校舎内に実体として姿を現した効果だと思えます。なお、卒業記念品として、61 回生から、石彫「風のキャリアード」（片伯部平氏）をいただきました。60 回生からの日本画「未来・礎」（神戸智行氏）、58 回生からのステンドグラス「初めての日」（野見山暁治氏）、57 回生からのテンペラ画「有志の学舎・立志の春」（日賀野健一氏、旧「二号館」の姿を留めたものです）、並びに、「思考廻廊」や卒業生の諸美術作品などで、新校舎は一種の美術館のような場にもなっております。ご来校の折には、ぜひ、ご鑑賞ください。

ところで、久留米大学附設高等学校並びに附設中学校は、この 4 月に、それぞれ、第 64 回生、第 45 回生を迎えました。ご承知の通り、163 名の中学新入生の内には 45 名の女子生徒が入っております。高校生は余り目立たないと思いますが、制服も今年の新入生から若干改めました。手前味噌かもしれませんが、中学女子生徒の制服姿は理知的でしかも可愛らしくこの辺りでは出色ではないでしょうか。なお、入学式の式辞は、本校ホームページに貼っております。

http://www.mii.kurume-u.ac.jp/fusetu/information/2013/pdf/2013nyugaku_sikiji.pdf

また、前後致しましたが、三月には附設高校から第 61 回生が巣立ちました。まだ、受験勉強を余儀なくされている諸君が多数残っていることは残念の極みですが、かれらの在校中の様子では、ときに舌を巻き、ときに、思い知らされるという次第で、附設生の中でも、端倪すべからざる連中であることはよくわかっておりますので、多少長いスパンで眺めれば楽しみの方がはるかに大きいと思っております。かれらの卒業式の折の式辞も本校ホームページに貼っております。

http://www.mii.kurume-u.ac.jp/fusetu/information/2012/pdf/61sotsugyo_sikiji.pdf

末尾ではありますが、同窓生諸氏のますますのご繁栄を祈念いたしますとともに、今後とも宜しく本校をお見守りくださいますよう、お願い申し上げます。

福岡支部長挨拶

田中 利美 (20回生)



暑さ厳しき折ですが、皆様方にはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、私が福岡県全体の支部長に選任されてから3年が経過しました。

この間の支部活動を振り返ってみますと、「福岡支部が東京支部と並んで車の両輪として同窓会本部を支えていく」ということは、同窓会本部と一緒に、本部理事や正副支部長等が参加した東京との合同のテレビ会議等からして一定貢献できたのではないかと考えています。福岡支部としては、この方向性をますます強めていく必要があるだろうと考えていますし、そのために努力していく所存です。ただ、本部が身近にあることや大学生が医学部生中心であることもあって、残念ながら福岡支部としての独自の活動が弱い面があります。今後福岡支部の独自の活動をどう発展させていくのかを考えていく必要があるかと思われまます。

福岡県内においては、サロンド附設イン福岡、同北九州、同久留米、大年田OB会(旧有明支部)、筑後OB会、甘木朝倉OB会等の高校同窓生の集まりがありますが、これらの会合には、支部としての一体性や懇親のために、できるだけ参加させていただきました。筑後OB会等には下川敏弘幹事長にもご参加いただきました。

昨年の支部総会において当番回生として高校24回生が確認され、下川敏弘幹事長のもとに今回の支部総会の準備にあたってまいりました。本日の支部総会が成功裡に開催されていることは、24回生の頑張りのお陰でしかありません。心より感謝申し上げます。

なお、支部規約によりますと支部長の任期は2年で再任は妨げないとはなっていますが、本部規約が原則として2期4年を上限としていることからしても、新しい支部長のことも考えていく必要があります。副支部長や幹事長或いは本部ともご相談しながら新支部長の人選を進めていき、来年の支部総会においてはそのことを諮らせていただけたらと考えます。

最後に、久留米大学附設高等学校そして同窓会並びにご参加の皆様方の益々のご発展を祈念して、福岡支部長としてのご挨拶とさせていただきます。

同窓会総会幹事長挨拶

下川敏弘 (24回生)



お忙しい中に同窓会総会にご出席いただき誠にありがとうございます。

私に幹事長の任の打診があったのは今年の冬でした。前年の幹事長をされた古賀善彦先輩から、「判つとるやろうね。」と念を押されました。というのも古賀先輩に23回生の代表世話人をお願いし同窓会活動に引きずり込んだ張本人が私だったからです。

今年の総会で最後に万歳三唱をしつつ、心ではその責を全うできるのか戦々恐々でした。1月から幹事会を招集し準備を行って参りました。なかなか時間が合わず3名しか集まれないこともありました。同窓会会報の発行も重なり、回生代表世話人会も影響を受けました。しかし、同級生の協力と各回生で活動していただき無事に開催にこぎ着くことができました。本当に感謝いたしております。

ところで、この総会は広告と有志の協賛金と当日の参加費で運営されています。協賛していただいた多くの方々にも感謝いたしております。しかし、みなさんにご存じでしょうか、同窓会自体の活動は在学生の同窓会費と卒業後の終身会費（三万円）で運営されているのです。この終身会費の納入率が実に悪いのです。私たち24回生は30%程でした。同窓会ホームページで終身会費納入者を確認することができます。パスワードは fkf1950 です。みなさん、後輩たちよりも低い納入率というのはいかなもののでしょうか。さらに、理事評議委員会では今回の総会での議事に在学中に終身会費分まで納めてもらうような規約改正を上げることが承認されました。振込先を下記に記します。終身会費納入者に名前がなかった方は出費多用の折大変申し訳ありませんが、終身会費を納入しすっきりして、後輩たちに大きい顔で接することができるようにしようではありませんか。

附設高校同窓生のみなさん、母校の校歌の三番にあるがごとく、『修羅道の世を救うべく平和の偉業 任として』、同窓生の力を合わせて活動していきましょう。

終身会費 振込先

ゆうちょ銀行 口座記号：01750-7 口座番号：54988

久留米大学附設高等学校

注) 振込人名の前に回生番号を記入。(例：24 汗カワシロ)

福岡支部収支報告書

収支報告書（平成23年10月～平成24年9月）

【収入の部】

(単位:円)

費用	決算額	備考
前年度繰越金	1,680,292	
総会会費	1,953,000	322名 (@6,000円) 21名学生 (@1,000円)
同窓会本部補助金	0	
広告等協賛金	1,809,790	
寄付金	131,000	代表世話人会
雑収入	50,000	当日お祝い金 10,000円×5件
預金利息	202	
計	5,624,284	

【支出の部】

費用	決算額	備考
1. 事務費	509,806	
①事務消耗品	20,888	事務用品等
②通信費	84,968	郵便費（広告依頼、冊子、お礼状発送等）、振込手数料
③印刷費	400,000	総会パンフレット
④ホームページ	5,000	サロンド附設
2. 事業費	3,792,876	
①会議費	1,016,729	会議室使用料、23回生幹事会、回生世話人会
②支部定期総会	2,611,147	西鉄グランドホテル
③交通費	165,000	東京支部2名、講師1名、恩師9名
3. 寄付金	0	
4. 翌年繰越金	1,321,077	
計	5,624,284	

平成24年度久留米大学附設高等学校
同窓会の収支を上記のとおり行います。

上記適正であることを確認いたしました。

平成24年10月1日

平成25年2月25日

久留米大学附設高等学校同窓会
福岡支部総会 第23回生 会計幹事

久留米大学附設高等学校同窓会
福岡支部総会 第24回生 会計幹事

原口 勝



大内田 敏行



平成24年度 活動報告

1. 本部関係

理事会評議員会 平成24年 5月27日
久留米大学附設高校1号館2階大会議室に於いて
平成23年度活動報告並びに23年度決算承認の件、平成24年度予算承認の件、規約改正の件、役員改選の件について提案・審議、吉川敦校長挨拶、24年度大学進学状況報告、各支部活動報告、福岡東京代表世話人の充実、思考廻廊推進委員会、財政問題改革委員会、情報管理委員会、就職セミナー、進路講座について報告、附設高校同窓会ファミリーの構築、附設高校後援会との連携について検討、その他修羅道基金の活動報告、総会・福岡支部総会の案内あり

第一回理事会 平成24年9月8日 個人情報保護規定(案)他
第二回理事会 平成25年3月2日 財政改革委員会 規約改正(案)
各委員会報告
(名簿委員会、思考廻廊委員会、竣工記念同窓会誌の発行準備)

定期総会

平成24年 7月 1日
西鉄グランドホテルに於いて
平成22・23年度活動報告、平成22・23年度収支報告、監査報告、平成24年度予算案について、規約改正について、役員改選について審議あり

拡大正副会長会

12回 : 平成24年 4月17日 TV会議
13回 : 平成24年 5月26日
14回 : 平成24年 8月 6日
15回 : 平成24年10月27日
16回 : 平成24年12月16日
17回 : 平成25年 2月 2日

出席者は原則として、正副会長・東京支部長・福岡支部長
必要に応じて、支部役員の出席を求める

回生代表世話人会 福岡地区 平成24年6月24日、12月9日
東京地区 平成24年9月15日

2. 支部関係

○ 熊本支部総会

期日：平成24年 6月23日
場所：KKRホテル熊本
田中福岡支部長出席

○ 福岡支部総会

期日：平成24年 7月 1日
場所：西鉄グランドホテル
吉川校長、長谷川会長、一瀬・中村・小田副会長出席

- 山口支部設立総会
期日：平成24年 7月27日
場所：山口グランドホテル
中村前副会長出席
- 佐賀支部総会
期日：平成24年 8月25日
場所：グランデはがくれ
吉川校長出席
- 東京支部総会
期日：平成24年11月 3日
場所：グランドアーク半蔵門
吉川校長、藤吉博範先生、長谷川会長出席
- 長崎支部総会
期日：平成24年11月10日
場所：会楽園
支部長が南宣行氏(10)より今村由紀夫氏(15)へ
- 関西支部総会
期日：平成24年11月30日
場所：大東洋
長谷川会長出席

3. その他

平成24年 5月25日	久留米大学評議員会
平成24年12月27日	久留米大学評議員会
平成25年 3月22日	久留米大学評議員会
平成24年 4月 6日	久留米大学附設高等学校入学式
平成25年 3月 1日	久留米大学附設高等学校卒業式

4. 恩師・会員の動向

旧職員	稲 益	豊	先生	ご逝去
1回生	西牟田 忠	志	氏	ご逝去
2回生	小 川 幸	希	氏	ご逝去
2回生	甲 木 俊	夫	氏	ご逝去
2回生	川 野 浩	司	氏	ご逝去
3回生	笹 淵 敬	良	氏	ご逝去
4回生	今 村 守	克	氏	ご逝去
6回生	太田黒	栞	氏	ご逝去
7回生	田 代 善	彦	氏	ご逝去
7回生	石 橋 勝	能夫	氏	ご逝去
10回生	森 下 純	忠	氏	ご逝去
12回生	岩 田	勇	氏	ご逝去
12回生	井 上 義	和	氏	ご逝去
16回生	清 流 誠	二	氏	ご逝去
20回生	栗 並	茂	氏	ご逝去
26回生	高 島 正	典	氏	ご逝去
34回生	豊 田 和	隆	氏	ご逝去

平成24年度 収支決算書

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(単位:円)

費目	予算額	決算額	差異	備考
(収入の部)				
入会金	820,000	820,000	0	4,000円×205名
会費	3,631,500	3,631,500	0	500円×605名×12ヶ月 500円×3名×1ヶ月
広告料	0	30,000	30,000	
寄付金	0	18,937	18,937	
雑収入	5,000	2,548	2,452	預金利息
当期収入合計	4,456,500	4,502,985	46,485	
(支出の部)				
1. 事務費	1,630,000	1,598,474	31,526	
事務消耗費	50,000	4,980	45,020	
事務委託費	1,200,000	1,200,000	0	事務員給与負担分、久留米大学附設中学校・高等学校後援会へ繰り出し
通信費	60,000	85,038	25,038	インターネット利用料 39,688円 切手・ハガキ他
印刷費	20,000	0	20,000	
事務室移転費	300,000	308,456	8,456	
2. 事業費	4,380,000	3,473,533	906,467	
会議費	600,000	360,708	239,292	
総会・支部総会 支援費	100,000	70,000	30,000	熊本・福岡・山口・佐賀・長崎・東京・関西支部
慶弔費	50,000	55,108	5,108	
旅費	700,000	668,880	31,120	
部活援助費	450,000	265,789	184,211	美術部 30,000円 サッカー部 30,000円 軟式野球部 30,000円 アウトドア部 29,956円 テニス部 29,705円 バスケット部 30,000円 保健委員会 26,128円 演劇部 30,000円 バレー部 30,000円
生徒会援助費	450,000	430,492	19,508	体育祭援助費 131,355円 文化祭援助費 299,137円
進路指導費	500,000	493,300	6,700	卒業生模擬試験経費援助 130,000円 卒業生激励会経費援助 363,300円
名簿発行 準備費	100,000	40,700	59,300	
就職セミナー 援助費	300,000	172,158	127,842	
ホームページ 作成費	600,000	543,000	57,000	サーバーハウジング費用 63,000円 ホームページ更新費 480,000円
卒業記念品代 事業費雑費	330,000 200,000	302,673 70,725	27,327 129,275	ペーパーウェイト 203個
3. 予備費	450,000	100,000	350,000	59回生思考迴廊パネル代金
当期支出合計	6,460,000	5,172,007	1,287,993	
当期収支差額	2,003,500	669,022		
前年度繰越金	14,732,995	14,732,995		
次年度繰越金	12,729,495	14,063,973		

財産目録

普通預金(福岡銀行 久留米営業部)	14,033,973円
普通預金(筑邦銀行 本店営業部)	0円
総合口座(ゆうちょ銀行 久留米合川郵便局)	30,000円

計 14,063,973円

平成24年度 終身会費収支決算書

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

<収入の部>

(単位:円)

前年度繰越金	158,433,835
会費	3,630,000 (30,000円X121名)
雑収入	316,688
当期末終身会費預り金	356,240
計	162,736,763

<支出の部>

(単位:円)

貸金庫使用料	12,600
前期末終身会費預り金	415,580
次年度繰越金	162,308,583
計	162,736,763

財産目録

普通預金(筑邦銀行本店営業部)	8,747,687円
定期預金(筑邦銀行本店営業部)	103,131,656円
国債	50,073,000円
振替口座(ゆうちょ銀行)	356,240円(預り金)

計 162,308,583円

監 事 の 報 告 書

事務局より提出された平成24年度同窓会費
及び終身会費の収支決算書並びに関係帳簿、書類
を監査しました結果、その内容は適当と認めます。

平成25年5月24日

同窓会監事

氏名

大神 幸



氏名

長 伸幸



平成25年度 収支予算書(案)

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(単位:円)

費目	前年度決算	当年度予算	差額	備考
[収入の部]				
会費(入会金)	820,000	828,000	8,000	年4,000円×207名
会費(年会費)	3,631,500	3,678,000	46,500	月500円×(208+202+203)名
会費(終身会費)	0	4,060,000	4,060,000	年30,000円×203名×2/3
終身会費過年度分	0	150,000	150,000	新規5名以上を目標
広告料収入	30,000	1,000,000	970,000	会報及びHPへの広告目標
寄付金	18,937		18,937	
雑収入	2,548		2,548	
当期収入合計	4,502,985	9,716,000	5,213,015	
[支出の部]				
1. 事務費	1,598,474	1,380,000	218,474	
事務消耗品費	4,980	30,000	25,020	住所ラベルほか
事務委託費	1,200,000	1,200,000	0	事務委託費
通信費	85,038	60,000	25,038	インターネット使用料他
印刷費	0	30,000	30,000	封筒代印刷ほか
事務室移転費	308,456		308,456	
事務雑費		60,000	60,000	同窓会室維持管理ほか
2. 事業費	3,473,533	9,070,000	5,596,467	
(会議関連費用)				
理事評議員会議費	360,708	400,000	39,292	旅費・食事代他
拡大正副会長会議		250,000	250,000	TV会議5回、1回は福岡で合同
総会関連支援費		100,000	100,000	総会旅費等
支部総会関連	70,000	200,000	130,000	支部支援10支部及び旅費
後援会との交換会		50,000	50,000	会議4回、懇親会2回 5名
回生世話人会議		720,000	720,000	東京2回、福岡2回、60名程度
旅費交通費	668,880		668,880	各会議費に旅費等を含む
(在校生等支援費用)				
生徒会援助費	430,492	450,000	19,508	体育祭、文化祭
部活援助費	265,789	300,000	34,211	
卒業記念品代	302,673	350,000	47,327	
進路指導費	493,300	600,000	106,700	浪人増加、模擬試験費援助
就職セミナー費用	172,158	200,000	27,842	東京で開催
(同窓会事業費)				
ホームページ管理	543,000	600,000	57,000	
校舎竣工記念会報		2,500,000	2,500,000	
名簿関連費用	40,700	1,000,000	959,300	
思考廻廊関連		600,000	600,000	
竣工記念講演会		600,000	600,000	同窓会主催、東京と福岡
慶弔費	55,108	50,000	5,108	
事業費雑費	70,725	100,000	29,275	
3. 予備費	100,000	100,000	0	
4. 特別会計へ繰入		4,210,000	4,210,000	終身会費分全額
当期支出合計	5,172,007	14,760,000	9,587,993	
当期収支差額	669,022	5,044,000		会報、名簿、講演会、廻廊
前年度繰越金	14,732,995	14,063,973		
次年度繰越金	14,063,973	9,019,973		

終身会費納入状況

回生	完納者	納入率	回生	完納者	納入率	回生	完納者	納入率	回生	完納者	納入率
1	60	101名 59%	16	57 (1)	208名 27%	31	159	217名 73%	46	128	195名 66%
2	80	141名 57%	17	58 (1)	195名 30%	32	174	224名 78%	47	119	194名 61%
3	67	135名 50%	18	59	195名 30%	33	177	209名 85%	48	135	197名 69%
4	74	153名 48%	19	68	205名 33%	34	184	217名 85%	49	152	201名 76%
5	63	159名 40%	20	51	209名 24%	35	157	209名 75%	50	133	200名 67%
6	63 (1)	159名 40%	21	72	211名 34%	36	175	209名 84%	51	157	202名 78%
7	91	162名 56%	22	74	229名 32%	37	157	199名 79%	52	145	203名 71%
8	84	171名 49%	23	62	183名 34%	38	154	210名 73%	53	163	199名 82%
9	61	149名 41%	24	70	214名 33%	39	166	202名 82%	54	147	204名 72%
10	75	150名 50%	25	91	220名 41%	40	122	201名 61%	55	136	197名 69%
11	63	159名 40%	26	165	223名 74%	41	87	205名 42%	56	139	205名 68%
12	58 (1)	154名 38%	27	155	201名 77%	42	105	206名 51%	57	143	199名 72%
13	74	165名 45%	28	172 (1)	217名 79%	43	107	208名 51%	58	147	198名 74%
14	54	145名 37%	29	159	215名 74%	44	117	197名 59%	59	148 (3)	210名 70%
15	49 (1)	161名 30%	30	175	212名 83%	45	132	194名 68%	60	123 (47)	199名 62%
									61	65 (65)	201名 32%

同窓会終身会費 会計報告

完納会員(3万円) 6,796(121)名
 分納会員(2万円) 9(0)名
 (1万円) 52(0)名

2013年3月31日現在

同窓会規約改正(案)

2013.07.07

[同窓会規約]

	現 行	改 正 案
第3章 役員		
第7条	3. 副会長 3名 一般会員中から評議委員会の承認を経て選出する。	3. 副会長 <u>5名程度</u> 一般会員中から評議委員会の承認を経て選出する
第5章 会計		
第12条	1. 本会の経費は、会費、寄付金及び雑収入をもって充てる。 2. 本会の経費及び会費は、別途定める会計規則による。	1. 本会の経費は、会費、寄付金及び雑収入をもって充てる。 2. 会員(一般会員及び在学生会員)は、別に定める会計規則に基づき会費を納めるものとする。 3. 本会の経費及び会費は、別に定める会計規則による。

[同窓会会計規則]

	現 行	改 正 案
第1条	会費は入会金、年会費及び終身会費とする。 1. 本会の入会金は、4,000円とする。 2. 会費は18,000円とし、入会后3年間、毎月500円宛納入するものとする。 3. 終身会費は、30,000円とする。 4. 会費は理由の如何を問わず返還しないものとする。	会費は入会金のほかに、年会費及び終身会費とする。 1. 本会の入会金は、4,000円とし入会時に納入するものとする。 2. 年会費は、在学生会員の間、1年度につき6,000円とし、毎月500円宛納入するものとする。 ただし、3年度分18,000円を限度とし、退学等途中退会する場合は、月割とする。 3. 終身会費は、一般会員の終身につき原則として28,800円とし、在学生会員の間毎月800円宛(36回)納入するものとする。ただし、在学生会員の間納入を完了していない者の終身会費は30,000円とし、一般会員となった後すみやかに未払い分を一括で納入するものとする。 4. 会費は理由の如何を問わず返還しないものとする。ただし、退学等により在学生会員が一般会員とならない場合、それまで納入された終身会費は全額返還するものとする。 5. 会費は、一般会計と特別会計に分けて管理する。 <u>一般会計及び特別会計の運用については、別に定める会計細則に基づき管理するものとする。</u>
第2条	予算の執行は、会長が行なうものとする。	予算の執行は、 <u>総会で承認された予算に基づき</u> 、会長が行うものとする。
第3条	本会の財産は会長が管理する。	本会の財産は会長が管理する。
第4条	この規則は、総会の決議により改正することができる。	この規則は、総会の決議により改正することができる。
(経過措置)	(な し)	<u>当該会計規則は平成25年4月より適用する。</u> <u>ただし、第1条第3項本文は平成26年4月に高校に入学する在学生会員から適用する。</u>

[同窓会会計細則](新設)

	現 行	改 正 案
第1条 (定義)	(な し)	<u>平成25年度より、従来の終身会費会計を特別会計、また従来の同窓会費会計を一般会計とする。</u>
第2条 (収入)	(な し)	1. 本会の収入(会費、寄付金及び雑収入)は、原則として、一般会計に組み入れるものとする。 2. 総会の決議をもって、その収入の一部を特別会計に組み入れることができるものとする。
第3条 (支出)	(な し)	1. 一般会計は、同窓会の経常経費の支払いに充当するものとする。 2. 特別会計は、母校の記念行事、設備資金の支援や一般会計の赤字資金充当などを目的とし、総会の決議をもって支払に充当することができる。
第4条	(な し)	<u>この細則は、総会の決議により改正することができる。</u>

平成25年度 同窓会役員名簿

役職名	支部名	回生	氏名
顧問 (2)		8	井手 和英
		10	古賀 暉人
会長	福岡	13	長谷川 房生
副会長 (3)	福岡	13	一瀬 徹夫
	福岡	15	伯川 志郎
	東京	19	小田 惠介
理事 (20)	関西	5	井手口 誠思
	東京	8	渡辺 望稔
	中四国	10	原 好弘
	佐賀	13	宮本 祐一
	東京	14	長縄 雅夫
	長崎	15	今村 由紀夫
	福岡	15	古澤 生敏
	北海道	18	松岡 高博
	大分	19	藤原 公司
	福岡	19	久富 公資
	福岡	20	橋本 和幸
	東京	20	安部 政信
	福岡	20	田中 利美
	福岡	22	松雪 惠津男
	東京	27	中村 和徳
	東京	28	高木 裕康
	福岡	28	吉本 幸治
	熊本	30	江頭 有朋
	校内	20	中村 一彦
	校内	47	行正 幸司
監事 (2)	福岡	7	大神 甫幸
	福岡	20	長 伸

役職名	支部名	回生	氏名
支部長 (9)	中四国	3	森山 弘行
	関西	5	友添 郁夫
	長崎	10	南 宣行
	熊本	10	石川 浩一郎
	佐賀	13	宮本 祐一
	東京	14	長縄 雅夫
	大分	19	藤原 公司
	北海道	20	檀浦 龍二郎
	福岡	20	田中 利美

役職名	支部名	回生	氏名
評議員 (49)	福岡	1	隈 正之輔
	福岡	3	安恒 好太郎
	福岡	4	丸林 茂夫
	大分	7	植木 陽太郎
	福岡	8	松平 信昌
	東京	11	野尻 公啓
	福岡	11	重永 征廣
	関西	12	西原 昭義
	福岡	13	小牧 昭徹
	東京	13	小川 禎一郎
	佐賀	13	西 晃央
	東京	13	増田 恒夫
	東京	14	久保田 徹
	熊本	14	寺嶋 隆則
	福岡	16	中野 博理
	福岡	17	石井 文一
	福岡	17	塩塚 公彦
	福岡	18	村岡 和明
	福岡	19	横山 晴弘
	東京	20	山下 喜伸
	関西	20	山本 伸一
	北海道	20	西見 寿博
	福岡	21	小林 隆利
	関西	21	横山 俊祐
	関西	21	甲斐田 郁夫
	福岡	23	江藤 宏隆
	東京	23	吉田 清彦
	福岡	23	古賀 善敏
	福岡	24	下川 敏弘
	福岡	25	矢加部 浩一
	福岡	25	宮原 信孝
	福岡	26	井本 公重
	東京	26	牛嶋 公啓
	福岡	27	佐々木 郁夫
	中四国	28	田代 聡隆
	福岡	29	猪飼 秀隆
	福岡	29	木下 宏太郎
	東京	29	日高 雄三
	福岡	31	森田 昇
	長崎	32	福田 実
	福岡	34	永田 八栄
	福岡	39	古賀 篤
	東京	39	福山 泰平
	福岡	42	楠田 大蔵
	東京	51	福島 智史
	東京	54	千代田 武大
	福岡	56	大澤 めぐみ
	福岡	56	岩尾 和紀
	東京	56	岩光 麻里恵

代表世話人一覧

■ 回生代表世話人

回生	福岡支部		東京支部	
	氏名	氏名	氏名	氏名
01	河原 牧男			
02	石橋 義昭	中村 幸孝	加藤 勝文	一郡 透
03	安恒好太郎	大場 清隆	野田 隆昭	
04	日野 俊二	黒岩 貞治	佐々木 進	柳 昌憲
05	小泉 隆一	高木 俊夫	山口 厚三	塚本 忠敬
06	野田 尚一	小吹 学	山ノ内盛光	鹿毛 剛
07	松本 保正	大江 裕之	大石 弘利	武藤 正之
08	近藤 豊	木下 兼吉	渡辺 望稔	荒川清一郎
09	城戸 英喜	永野 盛文	星野 英東	戸澤 眞也
10	橋本 明	江上 正人	稲田 昌秀	佐伯 信雄
11	今里 克己	重永 征廣	橋本 雄二	小嶺 敏郎
12	大塚 哲也	梅野 正裕	林 章	
13	荒尾 清	小江 俊行	阿志賀雄二	松崎 義宏
14	大藪 誠也	上村 修一	長縄 雅夫	久保田 徹
15	福井 英二	古澤 正敏	楠田 宙生	
16	中河原哲朗	高尾 政英		
17	塩塚 公一	赤司 務・福山 明	中本 祥一	安永 裕相
18	村岡 和彦		宮本 博幸	藏守 俊昭
19	横山 晴明	山口 浩生	高橋 友作	堀澤 哲哉
20	橋本 和幸	竹内 一平	鹿子嶋 暢	太田 篤
21	大隈 茂	高島 光	砂場 泰浩	行武 俊行
22	古田 司	松雪恵津男	中村 尚昭	橋本 良一
23	古賀 善彦	大野 康	吉田 清隆	吉田 繁美
24	下川 敏弘	大内田敏行	佐々木 誠	淵上 祐二
25	山口 佳秀	矢加部浩一	田中 浩一	中島 崇博
26	新里 祐一	井上 俊孝	牛嶋 啓二	徳永 博基
27	佐々木郁夫	船津 和宏	上山 英昭	中村 和徳
28	江頭 修作	岡村 和彦	堀元 隆司	高木 裕康
29	猪飼 秀隆	稲益 守	大口 智文	日高雄三郎
30	佐藤 茂	古村 尚	唐沢 達信	坂本 格
31	森田 昇	竹下 正敏	大村 和範	富永 浩仁
32	内山 修造	東 晃一	佐藤 正一	幕 亮二
33	枝国源一郎	本村和也・渡邊 暁	木内 大	吉開 章
34	秋本 丈司	永田 八栄	阿部 高士	工藤 宏記
35	服部 剛	江口 剛史	小宮山郁太郎	高尾野 健

回生	氏名	氏名	氏名	氏名
36	眞崎 義憲		堀 達也	真栄城 正
37	平野 長暁		松本 義久	洞 幸司
38	富田 憲嗣		鶴野登志博	植木 正光
39	時津 高俊	古賀篤・藤野恭誠	福山 泰平	古門 成年
40	兼行 孝幸	古賀 哲明	榎下 健司	加藤 寛
41	川野 武志			
42	中島 研	楠田 大蔵	見満 周宣	
43	豊永 次郎		深野 章	安東 大輔
44	本江 嘉将	花吉哲芝・石橋孝彦		
45	岡本慎太郎	橋本 道成		
46	出納 正樹	宮田 知明	伊藤 周	草野 幸将
47	熊谷 善昭		笹尾 卓宏	浅枝 謙太
48	北島 皓興	山口 剛弘	平川 翔	
49	森山 裕司		平 進之介	牟田 秀俊
50	熊丸 陽亮		山口 雅彦	
51	植高 貴寛		大津 良太	行時 直也
52	千代田明久			
53	佐藤 孝志		梅井 正彦	大神 征爾
54	齊森・宮原 敏	橋本 智之	田邊 裕貴	椿 聡一郎
55			山本 航平	五十嵐丈鑑
56	狩野 雄紀	大澤めぐみ	安丸 佑平	光安麻理恵
57	足達 咲希	中島 孝輔	宮尾 采佳	石田 大典
58	山下華代・渡邊祥太郎	布花原麻貴	廣兼 佑亮	中島 英恵
59			平山いずみ	河北 拓也
60	小島 尚	村上龍之介	片山 竜太	畔柳 駿一

■ 福岡支部・職域代表世話人

職域	回生	氏名
福岡県庁	26	内藤 光
福岡銀行	27	為永 和博
福岡市役所	33	本村 和也
九州電力	33	眞子隆三郎
西日本鉄道	36	上野 潔

各支部近況報告

(東京支部)

東京への進学が増加するにつけ、毎年東京支部は100名を超える新入学生を迎えています。同窓会としては、東京での4年以上の学生生活を、不安なく実り多いものしてもらうよう、色々工夫を凝らし様々事業を実施しています。17年前から就職活動期を迎えた学生に対する『就職セミナー』や、東京に進学してきた学生を集めた『新人歓迎会』などです。

この他状況の変化はどんどん進み、東京に進学する女子学生も100名を超えるようになりました。我々は女性の事は従属的に考えがちですが、他校でも女性は女性で独特なコミュニティを持っているので、文化の厚みを増していく意味でも同窓会への女性の参画・活躍を求めようと考えています。

同窓会は懐かしい友と会合する場であるとともに、新しい知性と巡り会う貴重な場でもあります。その内同窓生同士が結婚する事もあるでしょう。会長が目指している『附設ファミリー』が名実ともに豊かになり、附設に学んだ事を幸せに思えるようになること期待しています。

支部長 長縄 雅夫 (14回生)

(北海道支部)

今年年中行事となったYOSAKOIソーランが終わると北の国北海道にも短い夏がやって来ます。

今年も6月16日(土)に、恒例の附設高校北海道支部同窓会をこれまた恒例の狸小路2丁目の銀座ライオン店で行いました。今年の参加者は8名。1年ぶりの集まりに皆さん、元気な様子で、多めに食べ、多めに語り合った一晩でした。

来年はいよいよ25回を迎え、久留米から同窓会長、校長先生のご出席をお願いする予定にしています。

支部長 壇浦龍二郎 (20回生)

(関西支部)

母校の卒業生は、多くの方が有名大学に進学され、同窓生として誠に喜ばしい。

昨年11月には、大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県及び和歌山県に居住されている同窓生約345名の方に同窓会のご案内をいたしました。参加者は、約35名でした。長谷川房生同窓会長にご参加いただき、懐かしい楽しいひとときを過ごしました。

末筆ながら、母校の卒業生の皆様がいろいろな分野で益々活躍されることを祈念いたします。

支部長 友添郁夫 (5回生)

(中四国支部)

中国四国支部は、昭和58年に発足してから30年に亘り活動を続けています。支部の会員数は200名を超えました。～サロン・ド・広島～などと称しては、年に数回は集まって互いの親睦を深めています。勉強会あり。歓迎送迎会あり。親睦会あり。「互助」と「親睦」を目的に活動しています。

メンバーは、行政・経済・教育・福祉などの様々な分野のスペシャリストとして、日々活躍しており、互いに刺激あって切磋琢磨しています。広島に在学の大学生もメンバーです。毎年、春には歓迎会を開きます。「附設高校同窓会共同体」の一員として、相互扶助のために開かれた支部活動を続けていきたいと願っています。

中国四国にお越しの際には、どうぞご連絡ください。今後ともよろしく願いいたします。

支部長 森山弘行 (3回生)

(山口支部)

附設高校同窓会山口支部は、平成24年7月に中四国支部から独立、発会いたしました。平成24年7月27日に山口市の山ログランドホテルで、第1回の支部総会を開催しました。出席は15名でしたが、案内状の返信で、今回は出席できないが、会を開催するときには必ず案内が欲しい、都合がつけば是非出席したいと意思表示をされた同窓生が多数ありました。

支部としての予定は、年1回の支部総会と、2ヶ月に1回程度の懇親会をということにしていたのですが、現在迄、平成24年11月、平成25年3月と2回開催しました。参加者は少ないですが、毎回、サロン・ド・北九州の方々にも連絡し、連携をしようということにしており、3月の開催時には、北九州の34回生の永田氏に出席をしていただきました。

今後、たとえ出席者が少なくても、定期で開催しようということにしています。その際には、本部にも、ご案内をいたしますので、都合のつく方は、是非のご出席をお願い致します。

支部長 小柳信洋 (14回生)

(佐賀支部)

佐賀支部は年1回の総会を開催している。

平成24年8月25日18時 佐賀市グランデはがくれ(出席者:18名)

1:講演会:有明海微生物に関する研究

佐賀大学農学部生命機能科学科 准教授 小林元太 氏:31回生

2:学校長祝辞:吉川 敦 校長 進学状況、建築現況の報告。

3:祝宴

4:支部長挨拶:理事会評議員会報告、24年度決算、25年度予算報告、規約改正、思考回廊などについて
第24回芙蓉医会(佐賀県在住医師同窓生の集まり) 年1回開催 会長代行:宮本祐一

平成25年2月1日 佐賀市割烹おおしま

講演:創傷への対処法 ―理想と現実― 枝国源一郎先生(33回生)

出席者29名:佐賀大学生:5名含む:女子2名

支部長 宮本祐一 (13回生)

(長崎支部)

平成24年11月10日、長崎市新地中華街にある会楽園にて久留米大学附設高等学校長崎支部総会が開催されました。この会で支部長南宣行が退任され、15回生の今村由紀夫(大牟田出身)が選出されました。

今回は社会人12名、学生14名の計26名が出席し、25名は男性でしたが、長崎大学新入生の石蔵保子さんが参加してくれました。会では今後、長崎在住の社会人参加を増やすと共に、医学部以外の附設出身者が参加しやすい方法について議論されました。この会は毎年11月の第1週の土曜日に開催されています。

平成25年1月30日には支部長を含む5名により幹事会が開催され、今後の運営方法等について討議されました。

支部長 今村由紀夫 (15回生)

(大分支部)

大分支部長の19回生藤原です。昨年7月に草野圭司次前支部長の後任として支部長になりましたが、支部としての活動は、一昨年10月、植木先輩宅で総会を開催して以来特に行っていない状態です。次回は日田市でなるべく早い時期に開催したいと思っています。その節はご支援よろしくお願ひいたします。

支部長 藤原公司郎 (19回生)

(熊本支部)

平成22年5月20日に発足した熊本支部は早いもので平成25年6月15日に4回目の熊本支部総会を開催予定です。総会とは別に毎年3月に支部会を開催して、熊大新卒者のお祝いや会員の相互親睦、情報交換を30名程度が参加して行っています。また、3月の支部会には必ず二次会が催され、和気藹々の楽しい時間を過ごしています。平成25年の附設高校からの熊大への新入学者は9名でした。また、熊大医学部に在籍中の女子学生は6名で、総会・支部会に花を添えていただいております。これらの諸君で、未入会の万々にも熊本支部会に入会登録していただき、相互親睦を図りたいと考えています。

支部長 石川浩一郎 (10回生)

(福岡支部)

福岡支部が福岡県における一つの支部として新しい規約を決定して再出発をし、私が支部長に選任されてから3年近くが経過しました。

この間の支部活動を振り返ってみますと、「福岡支部が東京支部と並んで車の両輪として同窓会本部を支えていく」ということは、同窓会本部と一緒に、本部理事兼任の正副支部長等が参加した東京との合同のテレビ会議等からして一定貢献できたのではないかと考えています。福岡支部としては、この方向性をますます強めていく必要があるだろうと考えていますし、そのために努力していく所存です。ただ、東京支部と異なり、本部があることや学生の同窓生が医学部生が中心であることなどから、福岡支部独自の活動が弱い面はありますが、その点をご容赦ください。

ところで、福岡県内においては、サロンド附設イン福岡、同北九州、同久留米、大牟田OB会(旧有明支部)、筑後OB会、甘木朝倉OB会等の高校同窓生の集まりがありますが、これらの会合には、支部としての一体性や懇親のために、下川敏弘幹事長と共にできるだけ参加させていただきました。サロンド附設イン久留米と大牟田OB会等には残念ながら日程の都合等で参加できませんでしたが、今後もできるだけ全ての会に参加させていただきたいと思っています。同時にこのように見ると筑豊地区にOB会等がありませんので、同地区の同窓生には是非とも似たような会を作っていただくことをお願ひしたいと考えています。

支部長 田中利美 (20回生)